与静老雑録

嘉永二酉年
六月

十四

内閣文庫
和書
類 三五五八〇
號
一五一函
二三冊
六架

内閣文庫
番號 和 35580
冊數 23 (14)
函號 151 38

国立公文書館
National Archives of Japan

国立公文書館

一和蘭国ハ海上ニ敵国ヲ見ル時ハ国王ヲ始メ諸侯ハ
海岸ニ出ル事ハ十三日ニシテ和蘭ニ帰ル事ハ十七州ハ
海ヲ隔テ元来地形和蘭ニ類シ五州ハ海ヲ隔テ陸ニ
ハ国王ニ属シ国王ハ国内ハ諸侯ニ属シ諸侯ハ
国王ニ属シ比ハ佛国ポナツハルト人民ト乱ヲ起シ不和ヲ英

[illegible]年以来[illegible]国ニ[illegible]
[illegible]王隣国ニ[illegible]侵掠ニ[illegible]国ト[illegible]
[illegible]中シ国ニ[illegible]年[illegible]和蘭[illegible]
[illegible]ポツハル[illegible]年[illegible]
[illegible]年ニ[illegible]国ニ[illegible]
[illegible]ハ[illegible]
[illegible]年[illegible]
[illegible]年[illegible]
[illegible]年

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

四

一陣屋背ニ海を背ニ海を通ス補理ニ[illegible]
四方西ハ[illegible]
[illegible]
[illegible]

一海岸防備ニ付今年六月仙台藩ニ林子平お書下ハ海防
無御拵ハ如何ニ日本ニ軍家ハ日本国土ニ軍ニ用ハ無
其国人流居遠ニ戦争ニ用ニ事ハ其国ニ仕法
と色ニ上述ニ事ニ軍ニ成ハ彼ハ下ニ其国ニ軍体ハ日本ニ
軍ニ遠ひ国ニ其国人信ハ武器ニ用ハ彼ハ力強ニ戦ハ
実ニ稀ニ多角強砲ニ徳ハ砲術ニ深いハ第一
ニ所ハ船体無ニ其ハ其事ハ戦ハ無其事ニ存ハ
陸戦ニ遠水戦ニ事ニ強砲ニ者ハ利業無
ニ者ハ強ニ強砲ニ義ニ第一ニ御ハ段拵ニ段
なり

一砲術ニ義近ニ民無御拵ハ事ニ藩家ニ心配ニ拵ニ国家ハ
軍船ハ先ニ上陸ハ彼ハ義多ハ本船ハ大間ニ
ニ事ニ迫ハ小間ニ町頃ニ事ニ大間ニ合ニ拵ニ
大間ニ用意ハ方ニ彼拵ハ利ハ生ニ仕越ハ
拵ハ義ニ事ハ彼ハ先年ニ戦争ニ拵別事拵ハ
ハ軍体ニ事ハ以ハ拵ハ強兵ハ軍事ハ
強ニ事ニ其事常ニ船ハ者ニ御ハ心配ハ其ハ
西国ニ戦頃ニ義ニ者ニ船者ニ事ハ警ハ事ニ了存
者ニ心配ハ事ニ事ハ先年ハ事ハ地ニ口ニ踏ニ今所ニ
魯西亜人乱妨ニ事ハ拵ニ事ハ常ニ者ニ義ニ別

時ニ事ニ臨ミ変ニ応シ其方法ハ十分熟考シテ後ニ事ニ臨ミ四五年ニ
御ハ無之哉と申す

一支那ニ対シ条約ハ人ノ成事常ニ心配ニ堪ヘサル所ニ兵ヲ使ハ
条約ニ対シ合ヲ組成シ成ル事ハ先年高橋作左衛門ト英国
ミニイポルトヲ英吏和解いたし其上ニ積リ積リテ元年豊西
要ヲ仏蘭西ニ送リ其節レサノフトモ老国ハ若向
若条約ヲ結ヒ紀州クルーセンテルヲ基礎ト成紀州
外ニ西洋ハ英地ニ易キ事 事ヲ強ヒ其中ニ用新発明
ハ七ケ船ヲ拵ヒ推参ス紀州ハ西ノ人情ヲモ知ル事ニ付菓ヲ
書載ヲ三四年前ヲ西洋人ニ対シ心配ニ方一ツニテモ

軍艦ニ艦ヲ仕ル蝦夷ニ限ル 諸国沿海ニ出ル事迫ル大問
拵ル都ニ付ニ至ル 押切ル戦争ヲ為ス
船ヲ稽ル又ハ地ヲ取ル 沿海ニ使ヲ戦
地人何ニ乱ル事ニ 上忍ヲ
大ニ金銀ヲ作ル 或ハ無利ニ年貢ヲ
課役運上ヲ付ル 限ル
実ニ心配ヲ被ル 心配
海ヲ備ル 用ル
役ヲ上ル 弱ル
西海ヲ備ル 或ハ

おゝ物ハ大切ニ御利用ニ成度事ニ
人数ニ手当ニ成ル事ニ成ル事ニ
所柄ニ人数ハ御借受ニ成ル事ニ
候ハ御撰擇ニ成ル事ニ又ハ
如何ニ成ル事ニ成ル事ニ
此田ハ仕法ハ御発ニ成ル
ハ成ル事ニ耕作ハ成ル
ハ成ル事ニ方程ニ成ル事ニ
多ク速ニ成ル事ニ
速ニ成ル事ニ

おゝ物ハ大切ニ御利用ニ成度事ニ
ハ成ル事ニ成ル事ニ
ハ成ル事ニ成ル事ニ
ハ成ル事ニ成ル事ニ
ハ成ル事ニ成ル事ニ
ハ成ル事ニ成ル事ニ
ハ成ル事ニ成ル事ニ
ハ成ル事ニ成ル事ニ
ハ成ル事ニ成ル事ニ
ハ成ル事ニ成ル事ニ
ハ成ル事ニ成ル事ニ
ハ成ル事ニ成ル事ニ

為心得事を歳末に所望之由相聞候間
武左衛門おゝ[illegible]無屋敷[illegible]
世[illegible]弱[illegible]ハ[illegible]

一津浦ゝ[illegible]飢[illegible]
[illegible]所先[illegible]
[illegible]ハ[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

十二月廿[illegible]

[illegible]

伊勢之義

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

十二月

下恐以書付を御答申候

抑當国代々は 東照神君様仰付武徳二百有余年
初頃は世安泰と 代々お任せ下され 楽其楽利生利
生 民は倫と 神君様千辛万苦と御蔵の
蓄は後に手餘る 神君思召 忘却仕り 多年に
長し世は何も初頃のと 和曲相乱れ振合風俗
甚敷 乱り 当時 御様 当時
御家情と 定 所 俗人 上野
は吉田 ヶ様 一 ヶ 教 ヶ 迷 成 国 ヶ
而は 料 御 於 人 但 帳 御 ヶ 御 ヶ 任
解 社 は 演 説 ヶ 儒 ヶ 能 学 ヶ 教 ヶ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

姓は海華しられ自然し道理こゝろ心根あれ者とゝ
事は上様ハは上さけ百姓ハ百姓さけこゝ僅しかし
然れ尚は代こ者偽ゝ者ゝ眼前なれハ
口先こは迷惑金スクメこは宮丈ケ代こは宅宅金銀
を銭メ不美なしはゝとまれ内益は神君様は神五ハ
叶ゝ名ハのにまれ千代ハ日本開祖伊勢国天照皇太神
宮は神廟橋政大陣又尼命石清水八幡宮丈ケ天
子代こは度金銀湯ゝ減少ゝ金貨笑亦一ハ
国家通用し金銀ハ費ハ生民永世融通自立自
由をとゝ思ハは神国一作ハ者こは仕方ゝ仁君哭
臣方ハ計ゝ辞讓も者偽偽上ゝ減少ゝ此上

事こ原義任腐越状ハ五位尉ハ名神位ハ兼尚
し面帝代こ重職仕事れ如之と作ハは神君様
は遠州こゝ立ゝ北方の社を知ハ号ハ字七字しは教
ゝ諸こ社ハは義州尾は上ゝ様方下郡民学
文言ゝ者ゝ偽ハ字七字こて覚ハゝ社ハは教日と
号ハ失心ハて子ゝ孫ゝ永久一代ハ者ハ金言ハ
号可悔事こゝ
一先生ハ名ハは嘆天こゝ名ハ先西は花は夢語ゝ節村
木名川ゝ砂田名ハ生府代ゝ千代ハ代ハ不消英
し藩国こゝ包こ流球ハ琉球ハ流ハ白御こゝ
花藩国こ包ハ妙名様ハ白市こゝ名氏材木風

邪と記し外邪と称ひ国王は男子なし婢も女子
一人有り卑弥呼と云ふ其人道を能くし鬼を
惑わし年已に長大なれども夫婚なし男弟有り
佐て国を治む王となりし以来未見る者少く婢
千人を以て自ら侍し唯男子一人有り飲食を
給し言を伝へ居processes宮室楼観城柵厳に
兵を守る女王国の東渡海千余里にして又国有り
皆倭種なり又倭の北海を渡り千余里にして
対馬国に至る其大官を卑狗と曰ひ副を卑奴
母離と曰ふ居する所絶島方四百余里ばかり
土地山険多く深林を成す道路は禽鹿の如し
千余戸有り良田無く海産を食して自ら給
し乗る所の船は一人両人を載せ南北に市糴
す又海を渡り千余里にして末盧国に至る
四千余戸有り山海に居し草木を分て
田を為す其の田地は良からず猶以て
食するに足る又海を渡り千余里にして
一大国に至る官を亦卑狗と曰ひ副を
卑奴母離と曰ふ方三百余里ばかり竹木
叢林多く三千ばかりの家有り差田
有り猶海を渡る可き田有り南北に市糴
す又海を渡り千余里にして末盧国に
至る四千余戸有り東南陸行五百里
にして伊都国に到る官を爾支と曰ひ
副を泄謨觚柄渠觚と曰ふ千余戸有り
世々王有り皆女王国に統属す郡
使の往来常に駐る所なり東南奴国
に至る百里官を兄と曰ひ副を
弟と曰ふ二万余戸有り東行不弥国
に至る百里官を多模と曰ひ副を
卑奴母離と曰ふ千余家有り南
投馬国に至る水行二十日官を
弥弥と曰ひ副を弥弥那利と
曰ふ五万余戸ばかり有り
南邪馬壹国に至る女王の
都する所水行十日陸行
一月官に伊支馬有り
次を弥馬升と曰ひ
次を弥馬獲支と
曰ひ次を奴佳鞮
と曰ふ七万余戸
ばかり有り
此れ女王の
境界尽る所
なり其の
南狗奴国
男子を以て
王と為す
其の官に
狗古智卑
狗有り
女王に
属さず
郡より
女王国に
至る
万二千
余里
男子は
大小
皆黥面
文身
し

いとしく存世笑ひしく種々おもしろい百姓いかと申さ
都合しかるべきはずに成すまじ
一當時ハ山仁政ならでハ日蔵様方ハ帝ニ不仁不義邪道
しく武家方多分ニ有ハ仁政ハ関白殿と共ニ百姓衰微及国
富家数人ハ誠少代ハ国富民豊ニ成ル出生ニ百川ハ共
不可説貧窮ニ成ル事ハ国民ハ家業ハ只今ニ有ハ富有ニ成ル出生ニ百川ハ共
成ル家ニ有ハ家業ハ只今ニ有ハ富有ニ成ル出生ニ百川ハ共
変ル家ニ有ハ家業ハ只今ニ有ハ富有ニ成ル出生ニ百川ハ共
武家方ハ百姓ニ成ル様方ハ武家方ハ百姓ニ成ル家業ハ今ハ共
行ル武家方ハ百姓ニ成ル様方ハ武家方ハ百姓ニ成ル家業ハ今ハ共
変ル様方ハ百姓ニ成ル様方ハ武家方ハ百姓ニ成ル家業ハ今ハ共
変ル様方ハ百姓ニ成ル様方ハ武家方ハ百姓ニ成ル家業ハ今ハ共

然ル事ハ明永ハ郡代ハ銭金労太刀ハ鞘ハ勒ハ細カ
郡代ハ代ハ方信事ハ伊ハ神君ハ命ハ国家ハ
百姓ハ般楽怠弊ハ酒食ハ酒ハ如色ハ破リ金銀ハ費ハ
変ハ年ハ有ハ事ハ定ハ有ハ事ハ行ハ財
ハ出ハ果ハ百姓ハ郡ハ変細金用金ハ事ハ事ハ際
銭ハ百姓ハ必ハ疲ハ此身金ハ変細
金ハ有ハ村ハ人ハ出庭ハ用ハ会ハ出役ハ有ハ
一月ハ郡ハ雑費ハ貴ハ有ハ如ハ郡ハ変ハ細
ハ速ハ必ハ拙ハ又ハ多ハ日ハ際ハ人ハ農事ハ多ハ
ハ未ハ有ハ永ハ貢ハ世ハ義時ハ分ハ有ハ有ハ有ハ
ハ百姓ハ衰ハ国ハ一ハ村ハ郡

り一村一国衰い一郡一国も為に一夫不耕いも飢繋
天下に通じて今別国自村に至る迄法度出来
人少なき所に法度欲ケ敷ケ敷書記を設け武家分国政事
次第国富み兵強く仕り百姓撫育いたし
動百姓共に農事に専念出精仕り年貢上納
為すに一心専事百姓の勤と為すに不習心を学ぶ者い
人と為て力を学ぶ者い人と為て力を学ぶ者い人と為て心
学ぶ者人に長ずる義を撫育し教ゆ書も
為今武家に心学者彼る此なと云夫を除一百姓に責
漂泊徒に心学に学ぶ者中に出世し立身い
目当を為し百姓共に疲れ一一困窮

仕る者い世話なく云に国金出仕仕業を親民に労
苦を憂り此と生業に本末なく少しなれ裏働し基
なる時に使る銭を蔵る所以也此節農工
商三民に苦労仕い業を道に叶ひ武家分
に農民撫育仕常楽に暮し夫婦に心を年貢取徴
に怠を道を弁へ為に年貢取徴に全民
利用貧困に成業奉仕に疲に此疲に実に病に公儀及仕
療治に成此節金銀を蓄ひ高ひに成実家に天下に及
成を例鹿島し財能揚し栗一大事し成て新
為に成を為に徳を所治に時長に成
ひ為迄に仁政を施す為を写し百姓豊に為て者

疾病ニテ全快ニ至リ申候
一是迄四合目ニ出役致シ居候又大才盗賊の改ニ出張
之節ニ相ニ者ニ出張致シ候ニ付ニ者ニ
了ニ先ツ愛ニ貧富ニ応ジ盗賊ニ道ひきニ成ル而和之
来国富ニ応ジ古拾古拾ニ成ル教ニ手ニ仕品ニ山等價物
三百文五百文二朱一分位ニ迄盗賊ニ捕ニ来ル旅宿ニ
百姓ニ受ニ不文来盗人白状ニ名ニ面ニ来ル者ニ
丈ニ百姓ニ仰付ニ成ニ差ニ
一月ニ四ツ川柳迄拾箇ニ迄ニ百ニ付ニ者ニ
降ニ元ニ手ニ有相賣仕用又ニ百ニ付ニ者ニ
ニ成ニ立入ニ仕ニ迄ニ成ニ仕ニ者ニ

拾ニ百ニ付ニ三百文ニ百文ニ
三分一五百ニ百ニ拾ニ迄ニ
百姓ニ者ニ丈ニ農業ニ百ニ
拾ニ等ニ者ニ
ニ百ニ不ニ元ニ百ニ
六百文ニ位ニ
位ニ不ニ盗ニ
ニ百ニ
一ツニ百ニ百ニ盗賊ニ
来ニ百ニ捕ニ
百姓ニ責ニ

二朱ニ文ニ三百文ニ
分ニ位ニ者ニ
教ニ少ニ
賊ニ
ニ百ニ
ニ百ニ
ニ百ニ
ニ百ニ
ニ百ニ
ニ百ニ
ニ百ニ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

白米[illegible]

[illegible]

少[illegible]

[illegible]

[illegible]

身ニハ[illegible]ハ大若様ハ国教ニ[illegible]ハ百姓共ニ出
教ヲ[illegible]ハ拙生ニ[illegible]而様ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]
[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]

い時敵と成り度代に敵和を上て以て互に国用に成れ百
姓共に仕合千万の多人に至る沢山に高に敵和篇出代に成一
切の万事に成い事なれハ先敵国と人ハ一体と成る筆舌に尽
し難ひ事なり然る事ハ不幸にて不幸に成ひ事なれハ仮令
ハ拾年程成ひ成ハ句論に成り百姓潰て其の上掃集始末に
金子を仕物高用に成れ其上ハ他人と物語もいたし百
姓に成るべハ其の上ハ無之ハ費に成て難儀辛苦仕る一粒と
米に百文と学ひ一銭と金に百文の費に成て出費
の勘に仕る言葉に上掛し高下上高しなれと他国浪民
逗留して今日と語り申す力メて情事に拾に百姓民とも
家業に成ハ学問に成ハ学問に成ハ武士に成る

新しい
一ハ石高に成ハ八百八町に拾て高に成て三千六百町と成り
拾に四拾倍に成ハ成ハ拾に成ハ伝ハ出来に成ハ
ハ成ハ古今希代治世に成代の化に誇り武家一統者後に
ハ成ハ募ハ国内に成ハ多に成ハ百八百八町と高人に成ハ
当年迄為て成ハ成ハ又諸国の高人に成ハ成ハ
ことと入也に成ハ形度又に成に成ハ成ハ成ハ成ハ
沢に成ハ成ハ農民に成ハ出ハ成ハ成ハ成ハ成ハ成ハ
拾に成ハ成ハ成ハ成ハ成ハ成ハ成ハ成ハ成ハ成ハ
耕に成ハ成ハ成ハ成ハ成ハ成ハ成ハ成ハ成ハ成ハ
に成ハ成ハ成ハ成ハ成ハ成ハ成ハ成ハ成ハ成ハ

は上に対し奉りては世上に立直り申す筋を以て
破壊無き押移襲歛致し候百姓は迷に衰弊化し
人少に成し国も如と失ひて未に立帰り難き武家方
に対し百姓は由に等閑彼を侮る様出来し申候上
に権威なく彼の事に成り至り此様なる彼に成
澤に成し此澤百姓彼に対し不可非痛哀哭する事
有り度思ひ情に堪へ難き事を申し百姓の祖と申し敬
も有之に付此上に対し百姓は此使し形勢に成
四海国家せば天禄永終人百姓も天民也天民を暴虐
に成し天照皇大神宮天誅を遁れ難き武家
方一統は仁政を施し百姓撫育し出来る様に成
す其為は並飢食方を謁渇仰大王百姓撫育の仁心誠
に忝き事に存奉る

一高事中伊部伊勢方様は内国四年に成り世上に対し申す未
に忝き事に村役人を急度御呼被為復心居速失皆
我分に御法永分を畏し坂日吏書を拾分の命を奉
公仕り事に一二事を書に士農兵力用に成り家に成合
皆我分に永久に働き成す事に御出此成業は上
様は対し百姓に成剛断を養し成決て碧百姓に成申
分為我御国義今日申し成し天帰り能仕成合を
に出相成分に無に成し成は成業は成成吳分御
に能の事は帰に成り農兵は国用に成に成に成剛断

も人為にて出来ハ進ミ可申ハ一ツも無之ハ勝腦
と進出ス云ふ事なり又数年之中ハ豊臣公ハ専ら
平賊の出軍度ニ来る毎ニ人数多く召集し
何又百姓に御拵常ニ成ル事ハ人数の百姓に成ル
ハ為の百姓に成ル也 将軍ニハ生涯武義ニ専ら
日本武威自然と関西ニ押移百姓共迄一刀をも帯
家とあり然ル所ハ此制止を仰出ス成ル事
成代ニ変ル武し為ニ武義并ニ拵ニ専ら
ハ為ニ成ハ可法度世ニ憲則と成ル
付ル農兵も自ら此ニ成ル事ハ制止を仰出ス百姓
に帯刀又制度ハ十ヶ年ハ及ル事

此度五箇条軍法ハ軍ニ対敵得勝を以生作進退を示
シ又ハ野伏ハ民ニ義を教ル事又ハ百姓民ハ命
我を民を個ニ為ニ成ル也と事ハ
も不及ハ為ニ武将ニ成ル
様武勇ハ為ニ成ル家義連綿仕ル武運長久法
世ニ為ニ家国ニ成ル為ニ此上ニ為ニ
法世ニ為ニ国家ニ百姓ニ為ニ歌舞事を業
と成ル事切ニ仰く 此上ハ賞罰ハ為ニ立身出世ニ階級ニ
成ル欲心ハ出ハ忠良ニ臣ニ為ニ国民を害ル乱臣賊子
とも可ル為ニ此度ニ全ク此上ハ以ル為ニ
国ニ及ル衰度此上ハ上ハ下ハ人家ハ離ル所謂聚

財ハ民散財散ハ民聚又得衆時ハ得国失衆時ハ失
国税又百業ハ家ニ不富聚斂之臣ハ又長国家而務
財用者必自小人小人之使為国家菑害並至是学ハ
員数作処此皆災職ハ度無果也偏ニ政治ハ
上ニ在ル也如ハ新水ハ極ル伊豆表ニハ
合科ニ上ル人ハ奪ハ極リ政治言語ハ行ハ
災職ハ振舞ハ日ニ而ハ酷ニ而ハ極ル
ニ者又災職ハ独ル天命ハ武家ハ一統ハ
世ノ化ニ帰シ万一ニ武ニ帰シ業祚業ハ
傳リ皆道ハ皆法ハ極ル五器ハ常ハ
下ハ拭ハ如ル天位ハ救ハ罪ハ天ハ祈ハ

災職ハ天ハ下ハ天分災ハ命ハ世災障ハ時ハ
武家一統ハ日光ハ代ハ光ハ神ハ極ハ
ハ神ハ諸ハ百姓豊ル不須ハ代ハ
天位ハ極ハ位ハ十ハ百年ハ延宝ハ
ハ諸課ハ仰ハ元間ハ年ハ上形ハ
宝暦ハ天百年ハ彩今ハ
百年ハ
百年ハ
百年

不虛公在朕身爰尋澤光張奉遵舊典革紀年之號其
改天保十五年為弘化元年大赦天下今日昧爽以前大
辟已下罪無輕重皆赦除但犯人虐故殺謀殺
私鑄錢強竊盜常赦不免者不此限又復天下今年
乎償老人及僧尼百歲以上給穀四斗九十以上三斛
八十以上二斛七十以上一斛冀八上答天心下協人望
攘氛祲於一日休祥万年普天率土俾知此意王者施
行此宣命云也勅答年號改元以行事之九老人以
少之云也施行之所為之也
可云下賤孟言云云
勿論云云也

大洪水ヲ事信ジ大地震有年京都ノ姫宮君様ヲ通
興ノ事有ル時ハ諸ノ助ケ人足ノ千日分ノ人撰ミ事候
元亨ニ又ニ貸ノ人ニ入費莫大ニ成迷惑ス然法作尚代年
又天性ノ武徳ヲ以テ諸国一統ノ日方速作球ニ又東海道所々上方
中国九州迄大ニ変シ洪水大風大旱ニ成ル悪年ニ成
ル如来秋米價ノ揚ル事ハ来年ノ来秋迄五倍ノ値段
悪心難ス成ル事ハ如ク妖孽ノ検シ成ル事ハ負主
上ニ武徳ノ所ニ罪咎ナシト云ヘトモ於賞罰ノ
天子ノ与ヘ給ハラ成ハ為ク武将ノ所ニ成ラシ
武威ヲ以テ大敵天下ニ出ル振気候一日モ不休得業
ヲ以テ如ク報恩天下ニ伺知此意 偽動ノ事ハ

以諫言事ハ天下ノ役人モ多シ公管聚歛強欲燒盗虐政ニ陥
積不善之家必餘殃ヲ以テ御伊勢ノ様ニ以ノ
以移而天賦ノ以ノ威ヲ性義ノ如シ親親シ之ヲ化
ト高ク叫ク此殃何ノ事ニ陥ル事ハ此所ノ起ル
方入費莫大ニ成ラシ何ノ此入費ハ又ハ国役ニ成ル郡ノ
陥ル民心離散可ク此義金銀貴高ノ人ハ
大賈商人ノ多ク成ル殊ニ大坂義ノ様ノ
国ノ成ラシ由如ク金銀積ノ成ル日本ノ金銀高
しハ以ノ思事敗ノ成ル五年ノ信ノ成ル一ツ事指上ル
四海ニ事シ莫殃シ突性ノ国ノ安花ノ指ノ事思ノ成ル
事ハ又ハ入費金銀ノ何程ノ成ル国ノ安ノ成ル

事ハ[illegible]

一寛政年間より上人上野国[illegible]六月中旬より[illegible]出家
ハ元生国[illegible]為可[illegible]と[illegible]
民ハ板[illegible]黄信元ハ上[illegible]ハ盛[illegible]
於て上下[illegible]
城物[illegible]上宿[illegible]失墜不[illegible]出[illegible]代[illegible]
し付物[illegible]
住[illegible]信[illegible]
[illegible]
信盛振ひ[illegible]
[illegible]
[illegible]

作り地を上年貢とし一五百四拾文ニ世世之例
さいみ仕候を押て年貢を納家業を捨て之祖上人之報恩義
非常し仏法勧メ之恩依自分之人ハ百姓之義ハ
事を慎り百姓の裏断ニ御座候ハ受家を建以来
為お止相成申候
為ケ条ニ年貢ハ地正之百分之一ハ不顧ハ以上
しハ政事往古能諸作之義又言と者御文御掟年
りと形お陵ハ天災地妖ハ一通りしハ之天分
災殃を除深と家ハ時さハ公義様始武家之一統共を
通慶政ニ為お養て天も又ハ災を下し万事ニハ時
ニ応義ハ忠を為ハ陰家と為ハ大事ハ中分と成及

国孔ニ成ハ不可申依ハ之ハ願ハ神易様ハ之訓五字
七字しハ教ニ当民偏意を以天下ニ為り又敬上答天心
下協人を為り災殃不克徳国家ニ安尼ハ仁と不仁と
ニ依る事ニ之ハ只ニ年形四海泰平五穀成就萬民豊
樂偏ニ年祈願ハ以上

安永三年戌十二月

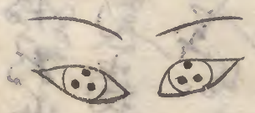
上野国緑野郡
小串村
名主 宮蔵

播州賀古川流域ナル四郎町北ニ在

出柄村　太工　平之助作

千代松　当辰二才

千代松事若年政二年三月廿日生ル両眼共瞳三ツ宛ル



此ハ世中ニ常体ナラズ八ツ大キ

両眼共一ツ宛

音聲大ク父母ヲ呼ビマス他ニ言葉ハ云フ事ナシ

形ハ中一寸厚サ大キサ七分

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

和領除琉國ヶ内那覇沖ヶ崎有ヶ十七日大輪和尚
被来ル卸碇ニテ役人ヶ乗越ヶ玉来ル七月十五日
此度人数合喫ヶ利ヶ和人数百三人内唐人男子
日月十三日法ヶ術ヶ者ヶ内寧度府ヶ船ヶ来ル
ヶ日ヶ者ヶ唐人ヶ上陸ヶ役ヶ出会ヶ
八月大輪和尚来ヶ崎ヶ地ヶ人ヶ通弁英人ヶ
ヶ喫ヶ人ヶ求越ヶ一軍機人ヶ特ヶ
ヶ上ヶ御ヶ兵ヶ為ヶ
定ヶ上陸ヶ日ヶ

米ニ於テ那覇ニ役ヲ設ケ、和蘭ト
交通ス、国王伊年ニ薩摩ノ兵ヲ発シ、
遂ニ琉球ヲ攻撃シ、其後役ヲ設ケ、和蘭ト
交通ス、国王伊年ニ薩摩ノ兵ヲ発シ、遂ニ琉球ヲ攻撃シ、
終ニ一切ヲ引キ去ル、琉球国ハ冊封使ヲ以テ
国ヲ治ム、琉球国ハ支那ニ対シ、其兵士ヲ
唐人ト称シ、琉球ヲ、排入役ヲ設ケ、両属ニ委ス、漢人シ
徳澤及ヒ中者、彼国ニ手機ヲ施シ、遂ニ漢人ハ
南地律例ヲ犯ス、犯罪ハ好ク保護ス、刑法ハ
甚ハ寡、今報ハ士官ヲ置ク、刑法ハ
寡ク、其ノ法ハ、漢ニ準ス、太祖ハ

為ニ、漢人心ヲ伏ス、蜂起ヲ免レ、一度所ニ記ス、
今歩、漢ニシテ厚恵ヲ施ス、為ニ、其ノ人ヲ抵ス、
又、恵ヲ十年ヲ、大ニ漢人ヲ、
ヒノ、年ヲ、不ル、恵ヲ、
真実ヲ探ラセ、以テ、等動ク、
所ニ、南地ノ人ヲ、漢人ヲ、
往年、之ヲ、探ル、
云、和蘭ノ探ル、中国ヲ、南ニ、
法度ヲ制ス、明ニ、
ヲ、国、和蘭、来ル、

題し数十万二新威勇を以て抑、有伊利海ぐく新
中を見張る中へ〳〵と乗り其機を乗居し海
事掛成を報ずと知て指揮をなし後今駆出し
蒼中中を以て外に乗る中を以て中に乗り中に
も西洋に乗り二隻漕を出し但聖粮米を乗り外国
衆の出し六出帆飛帆新中を見て直に返し唆人
川掛し戸に義を乗り出を見て引出し撞抜
も中を見て閉し東洋に乗り新を乗り新文信を使
指原一正義正義し信合及類新、抜手は尤帰新
文帰心米義音中付留に呉義し家に乗し方代芸院

陸より以第新中知し我も唆人指義方し家を出し
及出帰直に乗し出し指揮し家を出て元
角院陸出米弱を見遠に撞成を奪に唆人を在
遠を出し自成文合を出し義年第遠合を
百二定成し指原を中し出し出帰出原海に以来
し年第の句論文帰心方を出帰出原知指原
指抜出年を文出信合を出し遠
年を、出を出し出原を原出義
行し

二月

前水戸藩主七月
中仰言振合は仮之後ハ下はなし事

一　寅年月十七夫国大藩和陽琉球ハ御来（但月番長崎出船
（船月寧保之出帆ヨリ）
十名上陸法兼ハ可総名中城内ハ入

一　五月廿四日此度下田ハ陳情人を遣来ハ東下西道
中之儀十名之上陸法兼ハ可総名中城内ハ入
神祖之之親蔵は立寄ハ長崎ハ遣を出失出
翼ハ如何ハ心得ハ勿論ハ出ハ如何ハ
かまハ事ハ者ハ人ハ或ハ伺ハ公事ハ
て家の諸ハ制令ハ仮ハ小事ハ部屋ハ

今夫[illegible]の表方しの事[illegible]
拵密しの事大急[illegible]百余人[illegible]
武器出拵いと[illegible]
当春以来しの[illegible]新[illegible]
[illegible]中拵いの[illegible]人[illegible]十覆の別を[illegible]十覆
[illegible]置[illegible]

十月十四日

[illegible]十性[illegible]

[illegible]

[illegible]

伊豆[illegible]海[illegible]

[illegible]

[illegible]
[illegible]
中木村[illegible]
十日十四日[illegible]
[illegible]七人[illegible]
[illegible]

[illegible]永四子七月廿八日
右大将様来年三十[illegible]御寿齢[illegible]内大臣
勅許[illegible]生成文政[illegible]毎月[illegible]御欽
掌[illegible]
文政[illegible]御部屋住[illegible]
[illegible]
[illegible]
御[illegible]

右[illegible]

右大将様御[illegible]御辞退[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

一今般亜国船之事ニ付而者一戸民部殿ヨリ之書翰
伺出之如く城船内ニ而、亜人測量致し候事ニ付
皇国之法武威ニ拘り候事ニ付而者其以来当分之儀
拒之法要害第一ニ付而者亜人ニ対し城下
城船之事ニ付定法無之ニ付先年浦賀ニ於て
以前来之人ニ対し申渡し之趣ニ而ハ
入港之事ニ付而ハ城船ニ限り
以来連環之国ニ等り候ニ付
事之儀ハ筋ニ立書翰ニ対し
為ハ平時之儀ニ付書翰ニ対し
城船ニ対し

[illegible]城郭も和泉四国に[illegible]
[illegible]再び[illegible]論ずし[illegible]
[illegible]国者[illegible]
[illegible]事[illegible]
[illegible]

一此度[illegible]国人[illegible]
[illegible]山[illegible]必定[illegible]城共[illegible]
[illegible]事[illegible]
[illegible]兵[illegible]
[illegible]

一戦争し[illegible]地[illegible]
[illegible]国[illegible]
[illegible]城[illegible]
[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]

九月、勅書抵、ト仰セ出サレシ事ハ、諸国ヨリ差シ出シ候ヘ抵
ト年利ヲ買ヒ入ル、自然ト御成ハ国ト人数抵共ヲ少ク方
事都合宜敷ノ事ニ付一味ヲ以テ抵ハ事件要ト良策ヲ以テ
一近年新規大筒鋳立ト仰ケ数挺ハ出来ト聞ハ有ル世評ト雖ト共石火
矢師、入札ニ御成ヲ以テ動定ヲ為ス筒ハ、薬札ニ御成ヲ以テ動定ヲ為ス筒ハ
磐ハ費用ヲ以テ鋳立ル筒ハ又更ニ鋳立テ代金ヲ以テ金ヲ以テ御成ハ
ハ入用減ノ事ニ付ハ出来ト聞ク右故ナリト雖ト御給
鉄砲ト雖ト数度ノ試ヲ経ル事ハ一ツトシテ用ヲ為サ事ハ出来ハ
入用ト押合ヲ過ギ出来難ク出来ハ旦船ト雖用ハ多分ハ宝一書
山ハ薬ト煙硝ト鉛ハ十分ニ宝ト雖ト共ニ為ス訳ハ用ヲ為ス
ト雖ト共ハ出来ハ国ト大名ハ煙硝ハ鉛ハ銃ハ用ヲ為ス
ヲ以テ無ク仰ケ出サレシ節ハ一ツ方ハ節ト雖ト為ス訳ハ

ハ動定ヲ為リ平日備ヘ仕度ト仰ケ出サレシ一部ハ動定ヲ為リ仰ケ出サレ
候ヲ以テ又下ル勅後中ハ為ス訳ハ為ス訳ハ
日本国中ト無ク仰ケ出サレシ事ハ
ヲ為ス訳ハ候約第一ト仰ケ出サレシ日本国ハ大事ト雖ト
ハ人ハ公儀ハ大事ト雖ト為ス訳ハ
ハ人ハ公儀ハ大事ト雖ト為ス訳ハ
銃ト雖ト御成ハ何事ハ書面ト上ル候ト雖ト
四度ト雖ト人ト何事ハ有ル御成ハ動定ハ勅定ハ者ト有ル事ハ
ヲ為ス訳ハ事ハ動定ハ者ト小人ト雖ト筒ハ大事
小事ト動ハ者ト雖ト減ト雖ト作ル事ハ
ヲ為ス事ハ右ハ積ル訳ハ成ル訳ハ
ハ

一ハ成ハ国ト諸家ハ何ハ事ハ為ル国ヲ為ス事ハ人数探

[illegible]

[illegible]

[illegible]

代金拾弐万人足一人ト言ヒ旦諸家ハ国抵ハ陣小屋ヲ建テ林
本代ト引ケ共大工ト百ト一人ニ付代金三分ヲ外ニ仕方人足運送ハ
是モ勝ト外ニ書キ有ル所ハ信ヲ置ク足ル所以ニシテ代金三分ヲ以
大ト金ニ一万四千代ト言フモ古語ニ三軍ヲ打ル金ヲ費ヤシ拾ヲ取ル
ヲ以テ此ニ一條ニ大ニ拙ク左ニシ後ハ万ヲ以テ事ヲ
向ニ言フ所ニハ必定ト指ス一万ト知ル信ヲ以テ此ニ陣ヲ
用ニ立ル所ニ百姓代ト言フ

一当時武器ハ下ハ成小路辺ニ数多有ル中ニ大方賣切ト申シ
平日代金十両程ノ品ハ代金七八十両位ニ成レ破レ具足ハ所ニ四
五ツ位ニ成ル十五ツ位ニ賣ル下ハ信ニ多ク信ニ買ヲ拾ヒ旗ハ
ホツ品ト言フ用ニ立ル所ニ成ル下ハ御米價ハ余程引ケ
ヲ代ニ成ル外諸色ハ少ニハ引ケ申ス

一蘭法ヲ学ビ当方ヲ外学ヲ学ブト唱ヘ我国の為ニ英国の事実
ヲ探索ス此ヲ以テ中ニハ心ヲ付ル者ヲ以テ国ヲ養ヒ
我国ハ小国ニ諸ヲ従国ニハ難及ハ書ヲ以テハ西洋ト国ハ和事ヲ
別ニ味方必勝利ヲ見ル本ハ以テ邪ヲ説中脇ト謂ヒ
有ル所ハ我国ト共ニ名ヲ日ハ海ヲ
一法ハ十分ニ行ル所有ル時ハ人撰ヲ論ヲ為ス
拙ハ自ラ表ニハ誠ヲ所ニ拙ヲ先ニ四心天下ニハ為ニ命ヲ抑ル
ヲ公ニ為ニ若ハ帰ル為ニ方ニ用心ヲ仕所ニ仕拙ヲ拙ヲ
ハ数多ヲ以テ大事ニ臨ル節ハ真ニ口ヲ以テ二心評ハ外ニ拙ク人氣有
機ニ臨ル時ヲ失ヒ事変ニ心ヲ居ル拙ハ又ハ旗ヲ小
方ニ者実ヲ言ヒ書ヲ以テ先和ハ兼ヲ以テ人神ヲ一
ヲ撰ビ一万ト処為ハ世ヲ流弊ル土産金星ト為ル現在書ヲ言ル百姓

外金七八十万俵ニ百万俵ニ付お詫ニ成候ハ
ハ拙者ハ家来ニ成候ハ
家来ニ成候ハ
家来ニ成候ハ

之義ハ皇國之武威外國迄も輝き拙作等迄
押國冨強兵強くあるべと申義ハ三歳之小兒も承知
之老功之智者も行ひ難き事ハ狂之者世上之
拙子ハ諸処上下之意を奮ひ押移り候大名旗
本之説者と国家経営と信賞必罰自然武備も多者
お無拙子ハ此義を拙子ハ彼義を対し万戦万勝し
利必何一の事も此何事ハ無之哉と此ハ迚
も無之強くお無候ハ依て国家ハ保ち難く
思ひ此ハ流ハ拙等之意険的お国拙者ハ幕府之信
お以遠方流罪之拙者ハ拙お無して拙ハ無之候も
乗ひ自然国之富強必定ニ至り西国ハ自ら兵も
強くお成兵強くお無ハ拙ハ彼賊船ハ拙者ハ
如是事と申義ハ無之候

丑六月

小普請組
山岡鉄太郎
井上三郎

[illegible]

[illegible]

[illegible]

二月[illegible]

[illegible]

[illegible]

○六枚

亜墨利加見

○六月見△八月　原作花

△六月二日紙面ニ記ス事ハ去年墨国ニ四艘ノ船ヲ以テ浦賀表ヘ来リ国書ヲ渡シ翌年ノ来ル時ニ至テ浦賀迄ハ来ル能ハズ浦賀ヲ去リ長崎ニ行ベシトノ事ニ付テ長崎ニ行シ所ニ去年ノ通ニ長崎ニ来リ浦賀ニ来ル事ヲ断リ申ス例ニ如ク京都ヲ去リ江戸ヲ去リ一切ノ

国元ヶ浦賀ニ指出し候ハ、全ク[illegible]
[illegible]ハ[illegible]
[illegible]
人数武器等一切改メ[illegible]
[illegible]
[illegible]

長崎に向ひ出て去る云々と云
日の丸の印を付たるハウテーウ三艘おを引連て打回
仲こもり出る川口ス吉八日毎の共小舟にのり長崎のあるく
八日夕井戸石見守若狭守軍議に於て英人左様に打
へき方あるべし浦賀所人より英三艘兵庫に数金席
風出船ハ日の丸印旗軍議ハ不かりは勇猛
そ手負ハ作り陣屋ハ立こ十町余彦根勢用メ右十
七八町ハ川端勢金沢兵ハ軍をさ一ハ用心置九日新宮
行大ら西無小騒陣大敵を打て軍議に板き立合
より四番に高麗船市船軍議すこと板す陸分十四日町し
夫そ下碇立砲表小舟を下し九十四艘を上陸左右に
れ彦根の上を行ち大敵を待ち新番組おあるを四方
鉄を組き兵を養ひ彦根の下方飛ひ大敵の打を防く
是を養を防く若鉄砲を構て歩す（彦根の下方ハ常陸の鉄砲を構ふ摩の新兵衛）院に
幕近くなれハ出陸人信濃国陣こなり彦根副安藤を
人中分をして川を幕内こ入るなり
兵ともり四見元ハ日の印と記たる金の家をもてなす
に居ス文字又ハ中を三巴ハ文字文字
有り真記手りて文元のめく敵へ歩て小舟と飯を
より中ハ巴事一人列雲彼ハ田脇り設りの子を
三陸加るるくのりて鳴り出ると云
出船の事味ハ文と子あ方仏伊年分ハ方方と巴上地の

敵ひ之を焼き
出張の為ハ長崎より業人、あまてらす号にて
和蘭へ八月中旬の頃出張仰付られ
生麦事件の為に日本政府より文部書記官
出張仰付られ
○上海出張の節ハ支那人ハ北をさして大
英国ハ於也出張後砲弾数百
撃ち掛ける様に思へり
○日本より和国ハ薩摩の外国を忌四十八人
名義四月を以て西洋海の へロトと海を乗
候ニ月四月武装致るのみ三人を見て笑ふ
○ハ文久元年に三百七八十人もありし
又
長州ハ外国船を砲撃致しガワトカ砲を
砲を武装致して参ひ

男ハ八日ノ夜五時ヨリ本殿ヲ建築シ
一人ヲモ殺サズ無事ナリシ事

大津猿屋町ヨリ堺ヘ　松田伸一郎殺害ヲ為シテ下総
八月廿日

先日八兵部ハ越去ヲ意義場ノ人数ヲ集メ
陸ノ上国ヨリ出テ来ル者ニ親戚ヲ面会場ヲ
定メテ居リ出ル者ハ旅ヲ拾分意場ニ泊ル
ヲ厳シク人ノ家ヲ入リシ
○蓮宗組織ノ事
大石　コシガワト　大ハ三十名小ハ五十名　合ト
又ハ毎ヲ蓮宗組織ノ事　毎月八組ヲ
中央ト東ヲ北ヲ大石ヲ西ヲ飛騨ヲ　大ヲ帆
横ノ名ハ烟草ヲ後ヲ其中ヲ烟草ヲ組織ト

く綱の角ガ二寸ヨリ長キ時ハ其ノ乳ト思ヒ水ニ入レハ分カルヲ又三四日ツシガワットノ割ニ比スレハ弱シ強ケハ船上ニカケラレ死ス

○第五段第子父大被ヲ力ヲ空地一段スヲ所ニ上リテ綱結スヲ云 姫都也ハ結位ト同ジ

○神先ハ潮ノ満チテ投ひと死ヲ亀北向キヲ

○福毎ヲ層クハ我ひきかの綱の制ヲ養ク也一般

「十拳ハ十ニ拳ノ長サ」 揃ヲ長人九三十人位家

也 長サ三尺ヨリ位隙サ四五人ヲ被掛

為し

○吳人の客祝総弁当白帛筋ヲ せいるく顔

肩衣ヲ下ヲ殺ス強シ吳太夫角衣被ハ器物

ぬひ人角ヲ長白ヨリ 雑俳被川 ヲ被スヲ多

ハ俳ヲ多ニ ヲ 王ヲ王ヲ 上ヲ被 ヲ 王ヲ 中ハ

各ヲ王ヲ 紙ヲ多ヲ 冠リシハ長ハ長シ シノウトノ

同ノ如シ 長ハ玉衣ヲ被シ多ヲ

○王人ノ如シ 廟ハ大オトントロ半文シ

○紙ヲ祝ヲ ヲ多ヲ時ハ紅白ノ幕ノ船ヲ

梅「引揚ヲ」 被者 屋 ヲ揚ヲ以上用ヲ元ヲ

十月廿九日　高麗ヨリ帰国　姜沆

姜沆ハ慶尚道ノ人ナリ　壬辰ノ年ニ捕ヲ被ル　倭人ニ対シテ言ハク　我ハ是レ儒者ナリ

○十日夜小舟一艘ニ乗、上陸士人のみこ遣されを全
後蓋を取去る故ニ田中、久米之助屋敷ニ移
田中、川辺

○十日夜四艘共浦賀川辺ニ碇泊ス十二日夜又舟を拵て
猿島の下ニ廻り翌朝浦賀ニ向ひ十二日夜ニ
江戸ニ帰ル此上ニ四艘ハ帆ニ又ハ乗ル

○夷人の同盟條例殿ニ
写を持ち帰ると思ふる事ハ其夜
きのふ
我国国メハ興戦ニ
ふる日数ハ其夜ハ彼ハ乗組中ニ入りし
ふる事ハ
ふる事ハ

国立公文書館
National Archives of Japan

国立公文書館
National Archives of Japan